

教員氏名	阿南 寿美子
学位	修士 (教育学)
専攻 (専門分野)	幼児教育・幼児心理
担当科目	保育の心理学、保育内容「言葉」の指導法、こどもの理解と援助、こどもの発達理解とあそび、保育・教職実践演習、教育実習指導、教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
研究テーマ	子どもの社会的能力の発達、保育観、保育カンファレンスのあり方、保育記録、子どもの言葉の発達
所属学会・団体等	日本保育学会、日本乳幼児教育学会、日本保育者養成教育学会
<p>最近の業績 (研究業績) *過去3年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 著書 <ul style="list-style-type: none"> [共著] 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典 (2021) 中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹 編集、ミネルヴァ書房、pp.357-358 [共著] 保育内容「言葉」(2022) 徳安敦・堀科・山本弥栄子 編著、青踏社、pp.152-161 ・ 学会発表等 <ul style="list-style-type: none"> [共著] 実習時における学生の困難事例についての検討～乳幼児との対応を中心に～(2019)脇信明・古林ゆり・金子幸・上原真幸・阿南寿美子・島田知和・末寄雅美・藤本朋美、全国保育士養成協議会ブロック研究助成金 全国保育士養成セミナー報告 [共著] 保育者養成における保育者としての資質の変容に関する縦断的研究(5) 運動指導観を中心に (2020) 篠木賢一・阿南寿美子・命婦恭子・笠修彰・末寄雅美、日本保育学会第73回大会 (ポスター発表) [共著] 保育者養成における保育者としての資質の変容に関する縦断的研究(6)実習前後の遊び環境に対する理解の変容 (2020) 末寄雅美・命婦恭子・阿南寿美子・篠木賢一・笠修彰、日本保育学会第73回大会 (ポスター発表) [共著] 幼稚園・保育所実習において学生が抱く困難場面の記録検討 (2020) 脇信明・古林ゆり・金子幸・上原真幸・阿南寿美子・島田知和・末寄雅美・藤本朋美 日本保育学会第73回大会 (ポスター発表) [共著] 保育者養成における実習日誌に関する考察～保育職と他福祉系対人援助専門職との比較～(2021)阿南寿美子・脇信明・上原真幸・金子幸・末寄雅美・藤本朋美・古林ゆり、日本保育学会第74回大会 (ポスター発表) ・ 学術論文 <ul style="list-style-type: none"> [共著] 保育者養成における新幼稚園教育要領 領域「言葉」に関する一考察 (2019) 松尾裕美・阿南寿美子 福岡女学院大学紀要第20号 pp.15-21 [共著] 幼稚園教育実習・保育所実習における読み聞かせの実態～実習事後指導のアンケート調査より～ (2020) 松尾裕美・阿南寿美子 福岡女学院大学紀要第21号 pp.51-58 [共著] 乳幼児の発達を促す遊び・遊びの中で育まれる10の姿(2021)松尾裕美・阿南寿美子、福岡女学院大学紀要第22号 pp.13-19 [共著] 保育者養成校における保育者としての資質に関する調査～変数間の関連性の分析～(2021)阿南寿美子・命婦恭子・篠木賢一・笠修彰・末寄雅美 西南女学院大学紀要 vol.25、pp.113-122 [共著] 幼児期のあそびの中にみられる学び～子どもの育ちを意識した実習生の働きかけ～(2022)松尾裕美・阿南寿美子、福岡女学院大学紀要第23号 pp.73-81 	

教育業績*過去3年 原則的に担当科目に関するもの

- ・「保育の心理学」では、子どもの発達を理解を目的として講義を中心に授業を展開している。その際、スライド等を使用し視覚的に講座内容を理解できるように配慮するとともに、学生のこれまでの保育体験や自身を振り返ることによって、具体的に場面を想起することができるように配慮している。
- ・「子どもの理解と援助」では、「保育の心理学」及び実習での体験を基に教育的かかわりの理論についてパワーポイントや記述式レジュメを用いて講義し、学生たちの実習体験や現場保育者の事例を取り上げながら、子どもに対する効果的な援助方法について検討できるように配慮している。
- ・「教育実習指導」では、指導案作成指導・添削、実習日誌作成指導・添削、レポート作成指導、実習振り返り指導(面接含)等を行っている。附属幼稚園での観察実習後提出する課題レポート、各実習に記載された考察事例をもとに対象幼児の行動について心理的側面の理解を促し、発達を捉える視点および保育者の関わり方の意図等を確認している。また、年2回の実習報告会を通して、2年生から1年生へと学びがつながるよう取り組んでいる。
- ・「保育・教職実践演習(幼稚園)」では、教職課程の総まとめとして、現場保育者から保育現場の現状や新任保育者としての姿勢や取組み等を伝えられる場を設け、学生とのディスカッションを通して学生の意識の向上を目指した。また、模擬保育では保育者としての視点及び子どもの思いを体験することにより保育者としての資質の向上を目指している。
- ・「こどもの発達理解とあそび」では、乳幼児の「遊び」を実際に体験し、感じたことを講座ごとに記録・振り返りを行った上で指導案の作成指導を行った。「遊び」に参加する際、保育者としての視点を持ちながら取組み、子どもの思いへの理解を深めた計画を立てることができるように配慮している。
- ・「こども学特別演習」では、地域の保育所において、子どもを対象とした遊びを考え実践したり、学内の「えほんのへや」に附属幼稚園の子どもを招待したり、近隣の書店でおはなし会を開催したりして、実際に子どもと触れ合いながら、保育に関する実践を行えるよう配慮した。

実務業績*過去3年 原則的に担当科目に関するもの

- ・九州保育者団体合同研究集会分科会運営委員(2012年～現在に至る)
- ・西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園運営委員(2016年4月～現在に至る)
- ・北九州市児童福祉事業第三者評価事業専門委員(2016年～現在に至る)
- ・認定絵本土資格講座責任者(2018年～現在に至る)
- ・NPO法人あゆみの森共同保育園第三者委員(2018年～現在に至る)
- ・北九州市第三者評価事業フォローアップ研修会 講師(2019年～現在に至る)年1回
- ・北九州市社会福祉協議会キャリアアップ研修 講師(2020年～現在に至る)年1回
- ・社会福祉法人喜久茂会(ふたば保育園)評議員(2021年～現在に至る)
- ・高校内進路ガイダンス(保育に関する模擬授業)等(2019年-5回、2020年-2回、2021年-2回)